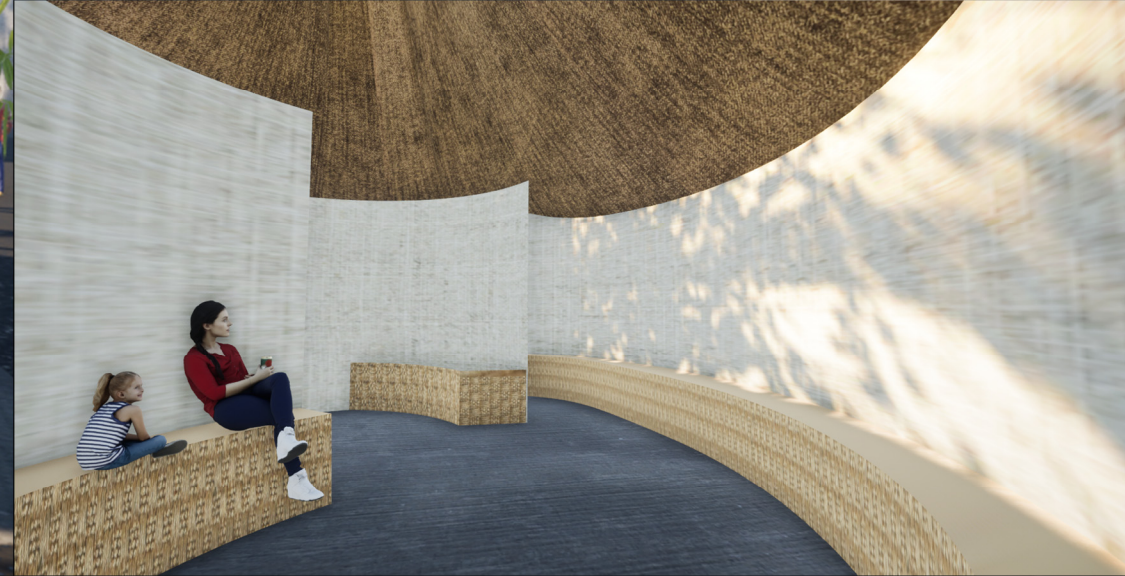
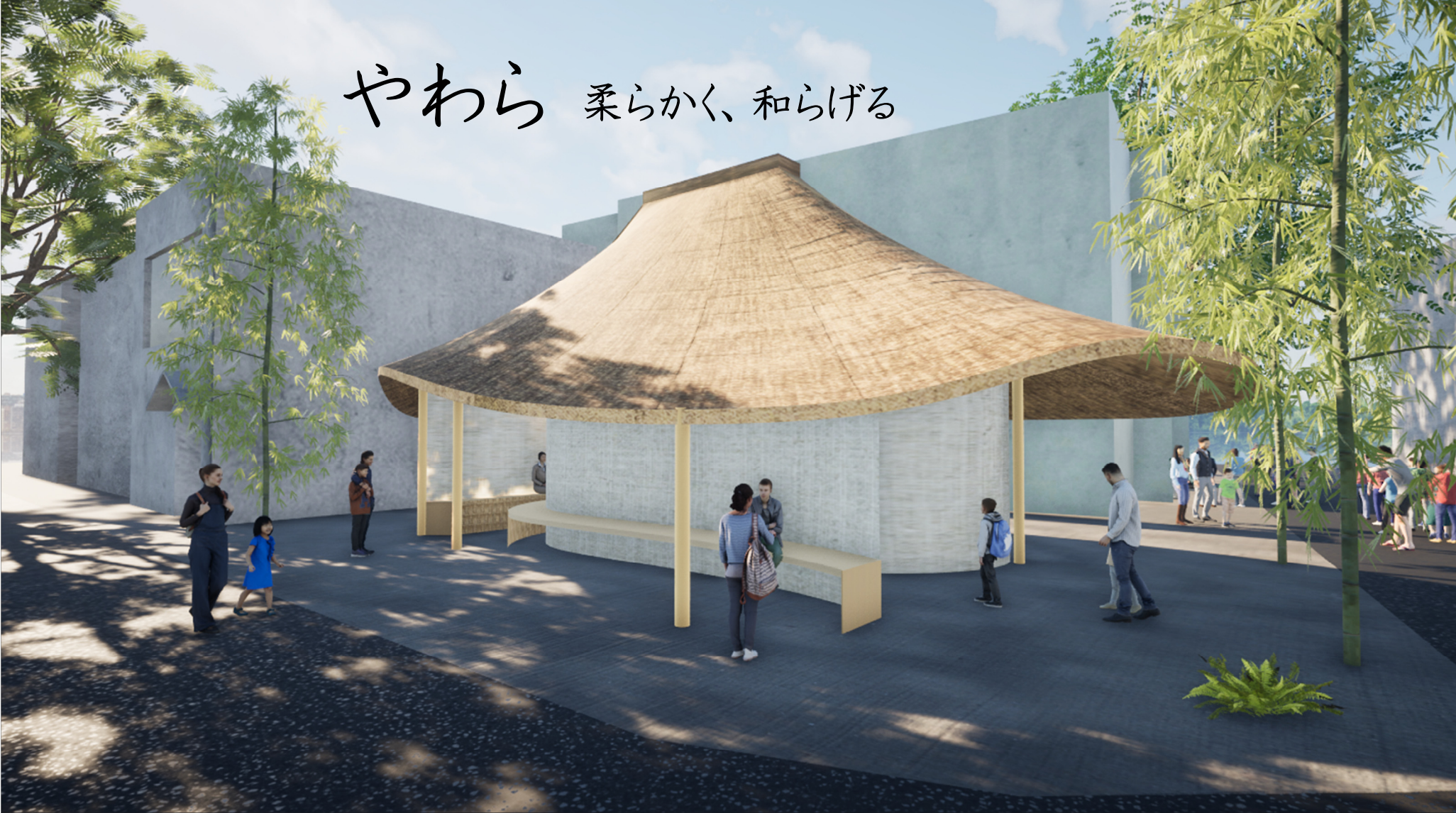


やわら 柔らかく、和らげる



1.やわら

日本の着物は西洋のドレスと違い、硬さがなく、一人一人の体にフィットするよう、柔らかくなじむ。また通気性も良く、体の内と外を柔らかく隔てる。この柔らかさに着想を得て、曲面的な壁や屋根により、建物を訪れた人の心を和らげる、新たな和の空間を提案する。



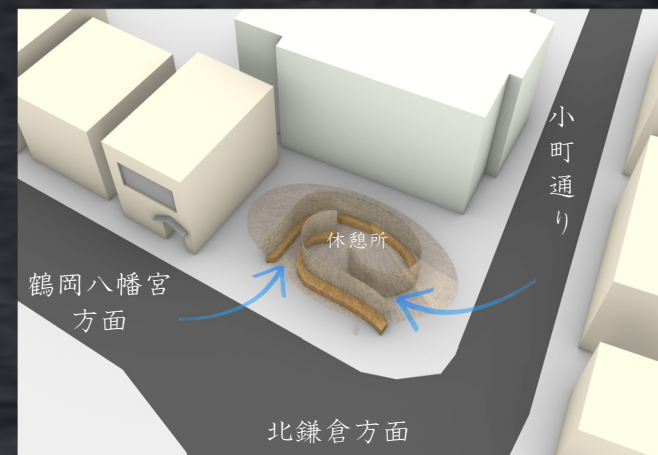
2.敷地

敷地は神奈川県鎌倉市。日本有数の観光地だが、食べ歩きや神社仏閣巡りなど、長い距離の徒歩移動が前提とされた場所でもある。そこで、小町通りと、鶴岡八幡宮からの道の交点に、休憩所を設置し、人々が足を休められる場所を作る。



3.構成

小町通りからの人と、鶴岡八幡宮側からの人を受け入れられるよう、二方向に入り口を設ける。日本的な素材、曲面状の屋根/壁に囲まれ、ゆったりと休息をとることができる。



4.マテリアル

屋根
茅葺き屋根を曲面に加工し、優しく包み込む。



壁
古くから着物に使用されていた麻を壁に使う。空間を柔らかく仕切りつつ、外の気配も感じさせる。

